

飼主とペット・防災の約束

- 1 自分の身を守る
- 2 ペットのしつけをする
- 3 近所でペット仲間をつくる
- 4 飼主とペットの健康管理をする
- 5 防災用品を準備する
- 6 ペットを預ける先を決めておく
- 7 飼主の心の準備をしておく



問い合わせ

秦野市生活環境課

住所：秦野市桜町1-3-2

電話：0463(82)5111(代表)

人とペットの防災ハンドブック

災害が起こったときのために
あなたは準備をしていますか？



—秦野市・秦野市獣医師会—

ペットを守るのは飼主の責任です

災害が起こったとき、ペットを守れるのは家族である飼主です。そのために、日頃から災害に備えておくことが重要です。

何を準備したらいいの？

次のことを確認しましょう

1 登録

犬は市へ登録をしていますか？

また、狂犬病予防注射は済んでいますか？

マイクロチップを入れることも有効です。迷子になってしまったときに、飼主の元に帰りやすくなります。

2 しつけ

無駄吠えしない・トイレ・ケージに入るのを嫌がらない・人に慣れているなど、最低限のしつけはできていますか？
他のペットたちとけんかをしないことも大切です。

3 健康管理

病気予防のワクチンや、寄生虫対策はしていますか？

日頃からペットを清潔にしておくことも、病気予防になります。

4 防災用品

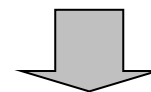
エサや水、持ち運べるケージなど、ペット用品の備蓄はしていますか？

また、すぐに持ち出せる場所に置いてありますか？



こんなことも大切です

- ◆ 近所の人に自分のペットを知ってもらおう
- ◆ 日頃から飼主同士のコミュニケーションをとる
- ◆ 他県の親戚や知り合いにペットを預けられるよう頼んでおく



まずは飼主の安全と体調管理が第一です！

何よりも飼主の日頃の健康管理や防災準備をすることが大切です。飼主が健康でなければペットは守れません。その次に、ペットについても備えましょう。



ペットの防災用品の例



- * ケージ：必ず用意しましょう。また、日頃から入る訓練をしておきましょう。
- * 迷子札：犬は鑑札・注射済票も必ず着けましょう。
- * ペットと一緒に写っている写真
- * ドッグ（キャット）フード、水：最低3日分は必要です
- * ペット用の食器：エサの散乱を防ぐことができます。
- * トイレシート、その他新聞紙やビニール袋、スコップなどのトイレ用品
- * 常備薬

